

2023年度 独創的研究助成費 実績報告書

2024年 3月 19日

報告者	学科名	現代福祉学科	職名	准教授	氏名	口村 淳
研究課題	介護保険施設の施設長からみたソーシャルワーカーに期待する役割に関する調査研究					
研究組織	氏名	所属・職		専門分野	役割分担	
	代表	口村 淳	現代福祉学科・准教授	社会福祉	調査・分析・発表	
研究組織	分担者					
研究実績の概要	<p>本研究の目的は、介護保険施設の施設長からみたソーシャルワーカーへの期待する役割について調査・検討することである。</p> <p>研究目的に対し、次の2つの課題を設定した。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 施設長がソーシャルワーカーに期待する役割の実態を把握する。 ② 施設長からみたソーシャルワーカー業務の課題を明らかにする。 <p>これらの研究課題に対して、以下の2つの調査を実施した。</p> <p><調査①：アンケート調査></p> <p>岡山県内にある介護老人福祉施設（237カ所）および介護老人保健施設（77カ所）が対象である。対象施設の施設長（各1名）に、アンケート調査を実施した。調査期間は2023年6月～7月。その結果、136名より返信が得られた（有効回答率57.4%）。</p> <p>今後は回収された内容を単純集計およびクロス集計にて分析する予定。また自由記述に関しては、質的記述的分析を行う予定である。</p> <p>現時点における研究結果を以下に示す。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 施設長の年齢は、介護福祉施設では40代が最も多く、次いで50代と60代以上であった。介護老人保健施設では60代以上が最も多く7割以上を占めていた。 ② 施設長としての経験年数では「0～5年」が、介護老人福祉施設では47%、介護老人保健施設では57%と、いずれの施設でも最も多かった。 ③ 施設長の保有資格は、介護老人福祉施設ではケアマネジャーが最も多く、次いで社会福祉主事、介護福祉士の順であった。介護老人保健施設では、医師が83%と最も多かった。 ④ 相談員に期待する役割について「とても期待する」が最も多かった項目は、介護老人福祉施設、介護老人保健施設ともに「空きベッドをスムーズに埋めるための調整ができる」であり、次いで「利用者のニーズや要望に対し適切に対応することができる」であった。 ⑤ 「多職種で構成されるチームのリーダーを担うことができる」では、介護老人福祉施設が高い割合であるのに対し、介護老人保健施設では低い割合を示した。一方、「利用者の家庭復帰に向けた調整ができる」では、介護老人保健施設が高い割合であるのに対し、介護老人福祉施設は低い割合を示した。 					

※ 次ページに続く

<p>研究実績 の概要</p>	<p>⑥ 相談員に期待する役割や課題（自由記述）では、施設経営を第一に考えられる相談員を求める見解が多くみられた一方で、経営を優先するあまり利用者への丁寧な対応ができないようでは困るといった見解もみられた。</p> <p>上記の研究成果を学会誌『社会福祉学』（査読付き）に投稿するため、現在論文を執筆中である。なお調査協力者の中でアンケートの集計結果を希望する人に対しては、別添の報告書を送付した。</p> <p><調査②：インタビュー調査></p> <p>調査①の対象施設の中から、調査協力が得られた施設長（22名）にインタビュー調査を行った。インタビュー内容を逐語録にするところまで完了している。今後は、逐語録を定性的コーディングにより分析を行う予定である。調査②の成果についても、学会誌『社会福祉学』に投稿することを目指している。</p>
<p>成果資料目録</p>	<p>調査結果の概要を添付します。</p>